

# きゅうしゅう

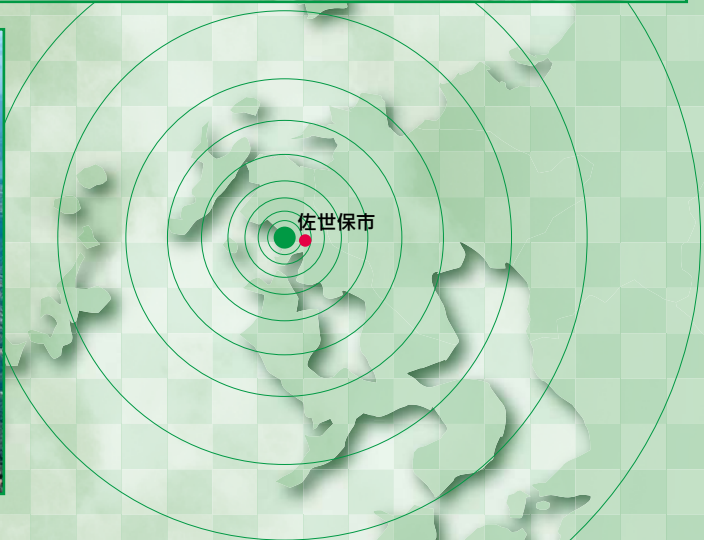


編集・発行 九州防衛局 総務部 福岡市博多区博多駅東2丁目10-7 福岡第2合同庁舎内 TEL092-483-8811

陸上自衛隊相浦駐屯地



佐世保港  
(長崎県佐世保市)



## 目次 CONTENTS

- 1 陸上自衛隊相浦駐屯地紹介
- 2 自治体紹介～長崎県佐世保市～
- 3 九州防衛局業務紹介
- 4 インフォメーション

# kyusyu





# 1 陸上自衛隊相浦駐屯地紹介

## 駐屯地司令挨拶



西部方面混成団長 兼 相浦駐屯地司令  
1等陸佐 曾田 健史(そだ たけし)

皆さん、こんにちは。西部方面混成団長兼ねて相浦駐屯地司令の曾田です。

相浦駐屯地は、昭和30年に開設され、その後いくつかの変遷を経て、西部方面隊の陸曹・陸士に対する教育を任務とする第3教育団主力が所在する駐屯地として、発展してまいりました。

平成14年には、西部方面隊の島嶼における防衛・警備及び災害派遣を任務とする西部方面普通科連隊が創隊され、近年においては南西諸島の緊迫した情勢を踏まえ、米海兵隊との実動訓練など日夜厳しい訓練に励んでおります。

平成25年には、第3教育団が廃止となり、新たに福岡駐屯地に所在し常備自衛官と即応予備自衛官からなる第19普通科連隊を加え、西部方面混成団として新編されました。

また、これらの部隊の他、駐屯地業務隊、普通科直接支援隊、会計隊、警務隊、基地通信隊、援護センターなどの部隊が所在し、西部方面混成団と西部方面普通科連隊の活動を支援しております。

相浦駐屯地の隊員一同は、それぞれの職務を着実に遂行していくことが、我が国防衛の第一線となる西部方面隊の任務完遂に直結することを深く認識し、自らを磨いてまいります。

本広報誌「きゅうしゅう」を通じて、皆様のご理解が深まり、更なるご協力を賜うことができれば幸いです。

## 駐屯地紹介・沿革

■ 相浦駐屯地一帯は、今から約150年前に干拓造成された土地であり、昭和16年には海軍佐世保鎮守府の隷下である、第2海兵団が駐屯しておりました。終戦後の一時期、米軍が駐留した後、昭和30年に第8新隊員教育隊が移駐し、相浦駐屯地として開設されました。

昭和44年に第3教育団本部が別府から移駐し、平成14年に西部方面普通科連隊が新編され、平成25年3月には第3教育団が西部方面混成団となり、現在に至っております。

駐屯地には、教育専任部隊である西部方面混成団、九州・沖縄地区の離島等における防衛警備や災害派遣に対応する西部方面普通科連隊、それらを支援する8個の部隊が所在し、東京ドームの20倍に相当する広大な敷地を有する恵まれた訓練環境の下、日夜厳しい訓練に励んでいます。



## 相浦駐屯地等所在部隊

### 西部方面混成団

団本部

第5陸曹教育隊

第18教育大隊  
(鹿児島県分屯)

第13教育大隊  
(福岡県春日市)

第19普通科連隊

3ページで特集

西部方面普通科連隊

第301普通科直接支援隊

相浦駐屯地業務隊

第303会計隊相浦派遣隊

第321基地通信中隊  
相浦派遣隊

第134地区警務隊  
相浦連絡班

長崎地方協力本部  
佐世保援護センター

4ページで特集

### ～沿革～

- 昭和30年10月 相浦駐屯地開設
- 昭和44年 8月 第3教育団本部(別府)相浦移駐
- 平成14年 3月 西部方面普通科連隊新編
- 平成15年 3月 第301普通科直接支援隊新編
- 平成25年 3月 第3教育団廃止、西部方面混成団新編

## 所在部隊活動紹介

### 災害派遣 給水支援

■ 平成21年7月佐世保市水道管破裂により、市内17,500世帯が断水となり陸上自衛隊と海上自衛隊が連携し、給水支援を行いました。このようにあらゆる災害の状況に応じ、人命救助や炊飯・給水などの多くの救援活動を行っています。



### 国際貢献

#### 宿营地警備



■ イラク復興支援・ハイチ派遣国際救援活動等に、駐屯地から要員を派遣し、異なる厳しい環境のもと、整斉と任務を完遂しております。

### 防災訓練

#### 人命救助訓練



■ 毎年、防災の日に当駐屯地において、佐世保市消防局や警察、陸上・海上自衛隊、米海軍、自治体等約40団体が参加する佐世保市総合防災訓練が、地震・豪雨を想定して行われています。





西部方面混成団旗授与式（平成25年3月26日）



# 西部方面混成団

- 九州・沖縄地区の陸士・陸曹・予備自衛官等に対し、その職務を遂行する為に必要な知識及び技能を修得させるため、年間約40個課程等（約2,500人）の教育訓練を行っています。

## 教育課程

### 最先任上級曹長集合教育

- 准陸尉・陸曹長を対象に、連隊及び大隊の最先任上級曹長として職務遂行に必要な資質を養成し、当該職務遂行の基礎となる知識及び技能を修得します。【約3ヶ月】

■ 図上演習教育



■ 問題解決実習



### 陸曹上級課程

- 1等陸曹を対象に、上級陸曹として必要な知識及び技能を修得し、陸曹としての資質を向上します。【約2ヶ月】

■ 現地戦術訓練



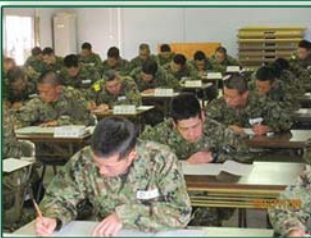
■ 職務分析



### 中級陸曹集合教育

- 2等陸曹を対象に、中級陸曹としての資質を養成し、必要な知識及び技能を修得します。【約3週間】

■ 訓練指導法  
(計画作成)



■ 分隊長としての指揮



### 初級陸曹特技課程

- 職種に分隊長等指揮官として必要な知識及び技能を修得し、各々の特技に必要な資質を養成して、プロフェッショナルである陸曹としての第一歩を踏み出します。【約3ヶ月】

■ 職種射撃訓練  
(普通科)



■ 職種射撃訓練  
(野戦特科)



### 陸曹候補生課程・生徒陸曹候補生課程

- 初級陸曹として必要な基礎的知識及び技能を修得し、陸曹としての資質を養います。【約3ヶ月】

■ 歩哨訓練  
(敵情監視)



■ 戦闘員としての行動



### 一般陸曹候補生課程・自衛官候補生課程

- 部隊勤務に必要な基礎的知識及び技能を修得し、陸曹（士）としての資質を養い、陸上自衛官の一員として仲間入りします。【約3ヶ月】

■ 入隊式



■ 基本教練



※ その他『陸曹基礎英語課程』『装輪操縦課程』『けん引操縦集合教育』なども行っています。





# 西部方面普通科連隊

「正義と秩序のために」

西部方面普通科連隊・・・西部方面管内（九州・沖縄）の島嶼（とうしょ）の防衛・警備及び災害派遣を任務としています。  
連隊は、いかなる任務にも迅速かつ機動的に展開できるよう、日々厳しい訓練に励んでいます。



西部方面普通科連隊本部隊舎

## 訓練風景



■ 山地機動訓練



■ 水路戦技訓練



■ 洋上斥候訓練



■ ヘリボン訓練



■ 射撃訓練



■ 海上自衛隊との統合訓練



■ 海兵隊（米国）との実動訓練



■ リペリング訓練

■ 山地機動訓練  
離島には傾斜が急で険しい場所も多いため、機動能力の向上を目的とした訓練です。

■ 水路戦技訓練  
離島へ水路から潜入するために必要なボート操縦など戦技能力の向上を目的とした訓練です。

■ 洋上斥候訓練  
離島へ隠密に上陸するために重装備で長時間遊泳できる能力の向上を目的とした訓練です。

■ ヘリボン訓練  
離島に迅速に機動・展開するために航空科部隊と協同で行う訓練です。

■ リペリング訓練  
ヘリが着陸できないような場所にロープにより降下する訓練です。



## ② 自治体紹介



佐世保市長  
朝長 則男（ともなが のりお）

### 長崎県佐世保市

ひと・まち育む  
”キラっ都”佐世保  
～自然とともに市民の元気で輝くまち～



長崎がんばんらば国体マスコットキャラクター  
「がんばくん」(左)と「らんばんちゃん」(右)

### 市長あいさつ

ホームページアドレス：<http://www.city.sasebo.nagasaki.jp/>

佐世保市は、九州の西北端、長崎県の北部に位置する、市域面積約 427k㎡、人口約 25 万 6 千人の県内第 2 の都市です。

明治 22 年に第 3 海軍区鎮守府が開庁されたことで人口が一気に膨れ上がり、明治 35 年に町村を経ないまま市制が施行されました。

それからのち、軍港都市としての発展を続け、昭和 19 年には人口 28 万人を超える九州で第 4 の都市となりましたが、敗戦により軍港都市としての基盤を失いました。戦後は、同じく軍港都市であった横須賀市、舞鶴市、呉市とともに「旧軍港市転換法」による平和産業港湾都市への転換を目指しましたが、法律の公布施行と時を同じくして朝鮮戦争が勃発したことから、佐世保市は連合国軍の前線基地となり、佐世保港は軍艦であふれる状況となりました。その後、米海軍佐世保基地、海上自衛隊佐世保地方総監部、陸上自衛隊相浦駐屯地が設置されて以降、平和産業港湾都市への転換と国防政策への協力を併立できるよう努めています。

一方で、複雑に入り組んだリアス式海岸と大小 208 の島々が織りなす景観が魅力の「西海国立公園 九十九島」や、多彩なアミューズメントやイベントが人気の「ハウステンボス」、また、昨年 11 月に佐世保駅みなと口側にオープンした大型複合商業施設「させぼ五番街」、さらに、市内外から約 25 万人が来場する「YOSAKOI させぼ祭り」など、佐世保市は「観光のまち」としても知られています。

このような中、本年 4 月、海の玄関口である三浦岸壁の供用開始に伴い、佐世保港初となる外国船籍のクルーズ客船の寄港が予定されています。また 10 月には、長崎県では実に 45 年ぶりとなる国民体育大会「長崎がんばんらば国体」が開催、うち 8 競技が佐世保市で実施され、11 月には、障がい者スポーツの祭典である「長崎がんばんらば大会」が開催されるなど、数多くのイベントが予定されていますので、ぜひ佐世保市を訪れて、その魅力を体感していただきたいと思います。



① 西海国立公園 九十九島



② ハウステンボス

© ハウステンボス/J-15359

- ① 西海国立公園 九十九島  
佐世保から平戸までの海上に連なる 208 の島々で昭和 30 年に国内 18 番目の国立公園として指定を受け、日本観光地百選にも選定されています。
- ② ハウステンボス  
中世ヨーロッパの街並みを再現したテーマパークで、広大な敷地にはホテルやレストラン、アミューズメント施設が並び、多彩なイベントが訪れる人々に驚きと感動を与えてくれます。
- ③ させぼ五番街  
「うみ・ひと・まちが、つながる」をコンセプトに、昨年 11 月にオープンした、佐世保市中心部としては初の大型複合商業施設です。
- ④ YOSAKOI させぼ祭り  
地元商店街のメンバーが中心となって立ち上げた市民参加型イベントで、昨年は全国から 174 チーム、約 7,000 人の踊り子が集結し、佐世保のまちを熱気で包みました。

さて、米海軍佐世保基地、海上自衛隊佐世保地方総監部、陸上自衛隊相浦駐屯地等の防衛施設が所在する中で、海軍鎮守府開庁を起点として、今年で開港 125 周年を迎える佐世保港は、米海軍、海上自衛隊、民間企業等の施設が混在し、各々が十分に機能を発揮できない状況にあります。

こうした中、かねてより、海上自衛隊による崎辺地区の利活用を国に要望していますが、昨年 3 月、米海軍の LCAC（エア・クッション型揚陸艇）が、崎辺地区から西海市横瀬貯油所に移転したことから、その跡地の日本側への早期返還と今後の利活用が喫緊の課題となっています。地域経済の発展には佐世保港の活用が不可欠なことから、今後とも、市、市議会が一体となって、港のすみ分け実現に取り組んでいきます。



③ させぼ五番街



④ YOSAKOI させぼ祭り

佐世保市は、基地との共存・共生を基本姿勢としていますが、それを支えるためには、米海軍、自衛隊と市民との相互理解が大変重要であると考えています。佐世保市総合防災訓練には、米海軍、海上自衛隊、陸上自衛隊も参加され、安全・安心のまちづくりにご協力いただいております。また、米海軍佐世保基地や陸上自衛隊相浦駐屯地の一般開放の際は、多くの市民で賑わうほか、海上自衛隊佐世保地方総監部では、昨年、地元商店街との共催で護衛艦等の自慢のカレーの味を競う全国初のイベントを開催されるなど、機会あるごとに市民との交流にご尽力いただいております。さらに、九州防衛局による日米交流事業や米海軍佐世保基地内大学への日本人就学生の受け入れなど、様々な場面で市民と基地との交流が図られています。

長年にわたり構築されてきた米海軍、海上自衛隊、陸上自衛隊と佐世保市との良好な信頼関係の下、基地と市民が共存する、よりよいまちづくりを今後とも推進していきたくと考えています。



# ③ 九州防衛局

## 九州防衛局 調達部業務

■ 九州防衛局調達部の主な業務は、九州北部4県（福岡・佐賀・長崎・大分）の自衛隊及び在日米軍が使用する施設（庁舎、隊舎、病院、飛行場、港湾施設など）の建設工事の設計、積算及び工事を発注し、その監督・検査等を行っています。

### 調達部の紹介

調達部長

部次長

調達計画課

- 調達部の所掌事務に関する総合的な企画及び立案に関すること。
- 建設工事の実施計画及び統計に関すること。

建築課

- 建築工事の設計及び積算に関すること。
- 建築工事の施工の促進、監督及び検査等に関すること。  
（建築工事の種類…庁舎、隊舎、病院、整備場、格納庫、体育館、食堂等）



（施設規模）  
鉄筋コンクリート造4階建  
延べ面積 約3,440㎡  
  
（用途）  
既存庁舎、食堂等の老朽化に伴い集約整備した庁舎  
（外観は、佐世保港倉庫の赤レンガをイメージ）



（施設規模）  
鉄筋コンクリート造2階建  
延べ面積 約1,470㎡  
  
（用途）  
横瀬貯油所貯油施設の防災のための消防署  
（米軍の消防車等4台配備）

土木課

- 土木工事の設計及び積算に関すること。
- 土木工事の施工の促進、監督及び検査等に関すること。  
（土木工事の種類…滑走路、駐機場、岸壁・棧橋、燃料タンク、上下水道設備等）



（施設規模）  
コンクリート舗装  
面積 約54,000㎡  
  
（用途）  
LCAC（エアクション型揚陸艇）を点検整備及び駐機するための施設



（施設規模）  
連続流入間欠ばっ気方式浄化槽（対象人員1,700人）  
  
（用途）  
既存施設の老朽化に伴い建て替え整備を行ったもの。基地から排出される、し尿・雑排水を処理する施設

設備課

- 設備工事の設計及び積算に関すること。
- 設備工事の施工の促進、監督及び検査等に関すること。  
（設備工事の種類…受変電設備、航空灯火、給排水、ボイラー、電話、放送設備等）



（施設規模）  
鉄骨架台 高さ：4.9m  
実効光度 20,000cd  
  
（用途）  
空港施設として必要な飛行場灯台（6階建て既設隊舎屋上に設置）



（施設規模）  
燃料受入れスタンド（20）  
払出しスタンド（20）  
ポンプ  
  
（用途）  
LCAC（エアクション型揚陸艇）に燃料を供給するための施設

総括建設監督官

- 大規模な工事現場において当該工事現場に係る他の工事監督官を指揮監督する。

### 最近の佐世保地区施設整備工事の紹介

■ 海上自衛隊佐世保総監部の正門正面に位置する本部庁舎は、鉄筋コンクリート造3階建て、延べ面積約2,300㎡、昭和43年に建設され築後45年以上が経過した建物で、外壁等の老朽化のため、このほど改修工事を実施しました。

本工事は、外壁を煉瓦調の塗装仕上げに、また耐震補強として建物外部に鉄骨ブレース、建物内部に耐震壁を設置するなどの工事を、平成24年10月に着工し平成26年3月末に完成しました。



■ 本部庁舎改修前（平成24年10月撮影）



■ 本部庁舎改修後（平成26年3月撮影）



# 業務紹介

## 地方協力確保事務

九州防衛局では、防衛省・自衛隊の施策や活動について、広く地域住民等の皆様にご理解いただくため、防衛白書の説明、日米交流事業、防衛問題セミナーや自衛隊の活動などの写真パネル展などを行っています。

### 防衛問題セミナー

福岡県福岡市

#### ～ 第25回防衛問題セミナーを開催 ～



館道九州防衛局長による開演の挨拶



セミナー風景



聴講者の質疑に応じる講師

3月4日(火)福岡市の「レソラNTT夢天神ホール」において、第25回防衛問題セミナーを開催しました。

今回のセミナーは、2部構成で実施し、第1部では、防衛省防衛政策局防衛計画課 中嶋 浩一郎課長が『新たな防衛計画の大綱と防衛力整備について』をテーマに、第2部では、陸上自衛隊西部方面總監 番匠 幸一郎陸将から『我が国の防衛と西部方面隊』をテーマに、それぞれ講演を頂きました。

今回、来場された方々からは、「最近、報道等に出てくるタイムリーな話題で、よく理解することができました。」「防衛に対しての方法・準備を細かくやっていたに安心してました。」「今後もこのような機会があれば是非聴講したい。」「といった数多くの感想が寄せられ、大変有意義なセミナーとなりました。

当日の講演内容については、九州防衛局のホームページに掲載しておりますので、ご覧ください。

九州防衛局では、防衛省の諸施策や自衛隊の活動について、より多くの方々に理解していただけるよう、今後も各地で防衛問題セミナーを開催していく予定です。



防衛省 防衛政策局 防衛計画課長 中嶋 浩一郎



陸上自衛隊 西部方面總監 陸将 番匠 幸一郎

防衛問題セミナーの詳細につきましては九州防衛局のホームページをご覧ください。(一部動画配信もしております) <http://www.mod.go.jp/rdb/kyushu/>

## ～ 長崎防衛支局 ～

### 海上自衛隊 護衛艦「すずつき」就役

平成26年3月12日(水)、三菱重工業株式会社長崎造船所において、護衛艦「すずつき」が海上自衛隊に引き渡され、これに続き自衛艦旗を授与された同艦は、初代艦長恒益2等海佐の指揮の下、配備先である佐世保に向け出港しました。

同艦は、平成21年度に「あきづき」型護衛艦の3番艦として計画され、基準排水量5,000トン、全長151メートル、幅18.3メートル、深さ10.9メートル、ガスタービン機関を搭載、速力は最大30ノット、最新型のレーダーシステムを装備するとともに、哨戒ヘリコプターを搭載するなど、高度な防空能力及び対潜能力を有した最新鋭の護衛艦です。

なお、同艦は、平成23年5月起工、翌24年10月進水、その後、ぎ装工事を行い、今般就役したのですが、この間、長崎防衛支局は、建造工事の監督及び検査を担当し、同艦の船出に深く関わりました。



写真：1 自衛艦旗授与 2 艦長及び乗組員乗艦  
3 自衛艦旗掲揚 4 佐世保へ出港した「すずつき」



# 4 インフォメーション

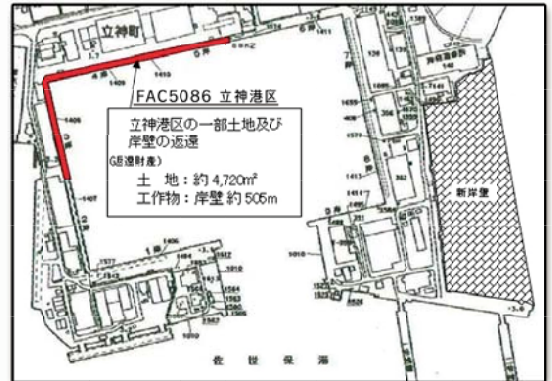
## ▶▶▶ 在日米海軍施設 立神港区における土地及び岸壁の一部返還について ◀◀◀

■ 平成26年2月4日、稲道九州防衛局長は、米軍への提供施設であるFAC5086立神港区の一部土地及び岸壁（長崎県佐世保市立神町）が、同日、返還されたことを朝長佐世保市長へ報告しました。

返還された内容は、FAC5086立神港区のうち、第3号岸壁の一部、第4号岸壁、第5号岸壁の一部（土地：約4,720㎡、岸壁：約505m）です。

以前は、佐世保重工業株式会社が米軍と共同使用してきましたが、米軍への岸壁の明け渡しという不安要素をなくし、操業の安定化と生産性向上を図るために同社が返還を求め、また、佐世保市においても佐世保港のすみ分けに係る新返還6項目の一つとして位置付け、同岸壁（背後地含む）の返還を要望していました。

報告を受けた朝長佐世保市長は、「40数年ぶりに解決していただいたということで、私も大変うれしく思っております。」と述べられました。



## ▶▶▶ 行橋市防災食育センターが完成（福岡県行橋市） ◀◀◀

事業費：約21億9千万円  
（防衛省補助：約12億4千万円）

■ 平成26年2月6日、福岡県行橋市において、「行橋市防災食育センター」の落成式が開催され、行橋市長を始め、多くの市民、関係者の方が出席し完成を祝いました。

同センターは、平成24年12月から25年12月にかけて建設したもので、災害発生時の被災者に対する食糧の供給や食糧（米）、水等の物資の備蓄、防災に関する知識を習得する講習会等を実施し、防災に備えることを目的に整備され、防災対応設備として、停電時に自家発電設備により稼働する炊飯施設と電気釜を備えるとともに、飲料水（約60t）、白米（約3t）、防火用水・生活用水（約40t）の備蓄が可能であり、自家発電設備（約270kw）と太陽光発電設備（約30kw）も装備されています。

また、平素は行橋市立小中学校17校に対する約7,000食の学校給食等の食育に関する事業を実施しますが、食物アレルギー対応特別調理室を備えるなど最新の施設となっており、今後、行橋市民のための災害等の有事の備えと平時の学校給食等に大いに活用されることが期待されています。

当事業に対し、九州防衛局は、「防衛施設周辺の生活環境の整備等に関する法律」第8条の規定に基づき、築城飛行場を離発着する航空機により生じる騒音の障害の緩和に資するため、民生安定事業（まちづくり支援事業）により、事業費の一部を助成しています。



施設概要：鉄骨造2階建  
延床面積：約4,000㎡



祝辞を述べる稲道九州防衛局長

## ▶▶▶ 平成26年度 防衛省職員採用 受験案内 大学卒業程度 ◀◀◀

防衛省では人事院が行う国家公務員採用総合職試験及び一般職試験の合格者から採用を行います。なお、「語学」及び「国際関係」については、防衛省が行う「防衛省専門職員採用試験」の合格者から採用を行います。

	試験名	受付期間	第1次試験日	第2次試験日	最終合格者発表
人事院	国家公務員採用総合職試験 (院卒者試験)	(インターネット) 4月1日(火)～8日(火)	4月27日(日)	《筆記》 5月25日(日) 《政策課題討議・人物》 6月4日(水)～13日(金)	6月23日(月)
	国家公務員採用総合職試験 (大卒程度試験)			《筆記》 5月25日(日) 《人物》 5月27日(火)～6月13日(金)	
	国家公務員採用一般職試験 (大卒程度試験)	(インターネット) 4月9日(水)～21日(月)	6月15日(日)	7月16日(水)～8月4日(月)	8月20日(水)
防衛省	防衛省専門職員採用試験 (語学…英語、中国語) (国際関係…英語、中国語)	(郵送) 4月1日(火)～18日(金) (持参) 4月17日(木)～18日(金)	6月8日(日)	7月14日(月)～7月23日(水)	8月6日(水)

詳しい内容につきましては、防衛省ホームページ及び人事院ホームページをご覧ください。九州防衛局総務部総務課人事係（TEL：092-483-8815）へお問い合わせください。

九州防衛局では不測の事態に対応するため、夜間・休日を問わず連絡体制を確保しております。

### 夜間及び休日の連絡先

電話：(092)483-8832 FAX：(092)472-1959

- ・平日は17時15分から翌朝8時30分まで、休日は終日。
  - ・上記以外の時間帯は各課室直通電話へご連絡下さい。
- <http://www.mod.go.jp/rdb/kyushu/>